

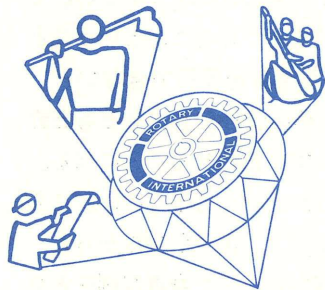


THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

No. 165 1990年2月16日



国際ロータリー会長 ヒュー・M・アーチャー

1989-90年度国際ロータリーのテーマ

ENJOY ROTARY!

**ロータリーを
楽しもう!**

本日の予定 1990年2月16日(第165回)

卓話(イニシエーション・スピーチ)

『意志こそ力』

竹島 忠昭 君 / 当クラブ会員

(株)富士通ビジネスシステム 専務取締役

先週報告

1990年2月2日 第164回

ビュッフェスタイル例会のため卓話はありませんでした。

司 会: 佐藤 定宏 会長

♪ロータリーソング: 「我等の生業」

ソングリーダー: E.A. ZALOOM 君

ニコニコボックス紹介: 後藤 信夫 君

来客紹介: 宮澤 博 君

出席状況: 会員 55 名中 / 出席 39 名 / 欠席 16 名
来客 7 名 (地方 1 名・都内 6 名)

◎会長報告

新入会員 宮武 保義君のご紹介がありました。

◎幹事報告

。'90-91 年度版ロータリー手帳と「ロータリー全国会員名簿」のご案内が、ロータリーの友委員会よりありました。希望者は2月23日(金)までに事務局へ。

ロータリー手帳 1部 515円

全国会員名簿 1部 3,708円

。先日のアンケートで会員を紹介すると答えた会員に、推薦の書類を渡しました。会員増強に一層の協力をお願いします。

◎ロータリー財団委員会報告

日本から海外へ留学するロータリー奨学生を募集しています。適格者がいたら紹介してください。〆切は3月末日。3回の選考を経て、決定は12月の予定です。

この奨学生は親善を第1の目的にしていますので、留学希望者の第1希望がかなえられるとは限りません。その点を考慮して推薦してください。

◎ゴルフ同好会報告

4月11日(水) 小金井 CC で東京南 RC との対抗戦を行います。当クラブの参加人数は10名です。

◎慶事披露

お誕生日

2月7日

関

征春 君

◎アイメイト基金ボックス(順不同・敬称略)

芦部 政道(2)・後藤 信夫(9)・平井 逸夫(13)・

岩上 好範(4)・河原 勢自(12)・丸山 忠典(7)・

宮本 正祥(4)・小原 健(3)・柴藤清三郎(5)・

竹島 忠昭(6)・田中 武(4)・山川 政樹(5)



2月9日

12件

¥66,000

累 計 194件 ¥1,341,500

ニコニコボックス

(順不同・敬称略)

植村 為久(東京南 RC) 本年もよろしくお願ひします。本日早退。

関 征春 46回目の誕生日です。これからもよろしくお願ひします。

小澁 雅亮 一人娘の20才の birthday。

沖 宏之 14年目に始めてバッチを忘れました。

宮本 正祥 ごぶさたしております。

田中 武 何となく久しぶりに。

丸山 忠典 例会を休みましたので。

2月9日 7件 ¥35,000

それぞれ、多額のご寄附を頂き有難うございました。

◎ビジター(敬称略)

花房正次郎 / 西宮 RC、高野伸比古 / 東京山の手 RC、林 正久 / 東京日本橋 RC、植村為久、島崎保彦、H. SCHMIDT、VAUBEL / 東京南 RC

◎ゲスト

加藤昌明氏(馬場会員ゲスト)

◎新会員ご紹介('90.2.9 入会)

ミヤ クケ ヤス ヨシ
宮 武 保 義 君

1929年5月1日生

清水建設(株)

常務取締役、総合企画室長

中央区京橋 2-16-1

TEL: (535) 4111

職業分類: 総合建設業

自宅: 逗子市桜山 7-1415-6

TEL: 0468(73) 7966

ロータリー歴: '80.6~86.6

大阪梅田 RC

推薦者: 田島 一郎君



会員増強と財政の討論から学んだもの

大日方 真

2度のクラブ協議会、クラブ会報の2か月連続特集、会員アンケートを通じて、表記のテーマについて徹底した意見交換が行われた。全会員が参加してこのような意見交換を行ったのは、当クラブ始まって以来である。これは会員増強とクラブ財政についての会員の認識を深め、結束を強めたという意味で意義ある討論であった。

しかし、会員増強と財政をいっしょに討論するという設定には無理があった。そのために討論はしばしば問題の本質からずれ、議論が十分に噛みあわなかったのが残念である。会員増強とクラブ財政は、全く別のテーマであるから、はっきり分けて討論すべきであった。

では、会員増強の今日の問題点はなにか。それは本年度末に会員数を65名にするという目標をどうしたら達成できるかということである。目標達成の見通しがたつのかたないのか。見通しがたないのならなぜたないのか。会員増強委に問題があるのか。会員1人1人の努力が足りないのか。選考基準が問題なのか。当クラブの会員としてふさわしい人がもう存在しないのか。65名という目標設定が無理だったのか。この議論をしっかりと問題点を見つけ出したかった。そうすれば対策もたつ。

おぼろげにわかったことはいくつかある。1つは会員増強委が作った4つの増強グループが名ばかりで機能していないことである。2つは会員数65名という目標が全会員に認識されていないことである。会員を増やすとクラブの質が低下すると懸念する消極的な意見が出たり、全会員が1名ずつ推薦するという増強の呼びかけに、それでは会員数が100名になってしまうという反論が出たりする。65名という目標を認識した上での討論であれば、どちらの意見も出なかったと思う。目標をしっかりと認識させなければ実効がおぼつかないことを改めて感じさせられた。

選考基準が厳しいとは私は思わない。会員増強の努力不足のしわ寄せが選考委員長に及んでいるようで気の毒に思えた。会員にふさわしい人がいないというのはどうか。これは前年度の増強委員長の率直な感想として伝えられている。これは私にはよくわからない。もっと分析して欲しいところである。65名という目標が誤りだということであれば、それは来年度への反省として、とにかく本年度は目標達成の努力を一生懸命やるべきではないかと思う。

財政についての議論は、なんのための議論であったのか。会員数65名という今年度の目標達成がおぼつかない、そのために予算が実行できないのでどうしようかということなのか。65名を達成してもなお予算が実行できないということなのか。それとも65名を達成しても、もともと赤字会計なので来年度に大きな負担を負わせることになる。来年度以降の財政をどうしようかということなのか。このことがはっきりしていなかったので、実りが少なかった。

但し、ピアノ演奏や誕生日祝いといった身近な例をとりあげて、クラブ活動の本質的なことがらに金を使う、自分の足を自分で食うような金の使い方はしない、という金の使い方の基本にかかわる議論が行われた。これには、私は目が開かれた思いがしたのである。

ロータリーの創立記念日を祝う

2月23日は、ロータリーの創始85周年記念日に当ります。この日は、世界理解と平和の日に指定され、2月全体が世界理解月間として知られています。

ロータリークラブが米国以外の国で結成され始めたとき、一番驚いたのは、ロータリー創始者ポール・ハリス自身だったそうですが、現在、世界167の国と地理的地域にロータリークラブがあります。ロータリアンとして、国際理解、友好、平和への私たちの熱意を思いめぐらすために時間をさきましょう。(89年12月-90年1月ロータリー情報抄録より)

◎ガバナー・ノミニー事務所開設のご案内

所在地 〒105 港区虎ノ門 3-6-2

第2秋山ビルディング 7階

電話 03-5472-8100 FAX 03-5472-8101

(平成2年7月1日よりガバナー事務所として発足します)

◎次週予定 1990年2月23日(金)(第166回)

「ロータリー創立記念日に因んで」

第275地区ガバナー 田辺 賢三 君

／当クラブ会員

受付会計／福田・後藤 来客紹介／笹倉

ソングリーダー／ザルーム ニコニコボックス／青野

各担当の会員の方は、11時50分迄にご出席願います。